

定期予防接種

国や自治体が「受けるように努めなければならない」と強くすすめている予防接種です。規定の年齢での接種であれば費用は原則無料です。（指定医療機関外で接種する場合は、一部自己負担になる場合もあります。）

□…無料で接種を受けられる年齢

■…接種可能年齢のうち、受けるのが勧められている期間

↓…好ましい接種時期

ワクチン	種類	生後90か月																標準的な接種年齢（月齢）とスケジュール			
		出 2 3 6 9 生 か か か 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 時 月 月 月 月 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳																			
B型肝炎	不活化	①	②	③															生後2～9か月までの間に、27日以上の間隔で2回接種し、初回接種から139日以上間をおいて3回目を接種します。		
ロタ	ロタリックス（1価）	①	②																※初回接種は、生後6週から生後14週6日までを受けてください。 ほかのワクチンとの同時接種を考慮すると、生後2か月からが最適です。 生後15週以降は、初回接種後7日以内の腸重積症の発症リスクが増大するので原則として推奨していません。		
	ロタテック（5価）	①	②	③																生後6週から24週までの間に27日以上の間隔で2回接種します。初回接種は生後6週から14週6日までを受けてください。	
小児用肺炎球菌	不活化	①	②	③				④											標準的な接種開始年齢は、生後2～7か月未満です。接種開始時期により接種回数異なります。詳しくは次ページの表をご覧ください。		
五種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ、ヒブ）	不活化	①	②	③				④											初回接種は生後2か月から、20日から56日の間隔をおいて3回行い、追加接種は初回接種終了後6か月～18か月の間隔をおいて1回行います。		
BCG	不活化			①															生後5～8か月に達するまでの間に1回接種します。		
麻しん風しん混合（MR）	不活化							①											1期 1歳の間に1回接種します。 2期 5～7歳未満の子で小学校就学前（保育園・幼稚園等の年長児期）の1年間（4/1～3/31）に1回接種します。		
水痘（水ぼうそう）	不活化							①	②										生後12～15か月の間に1回接種した後、1回目の接種後6～12か月の間隔をおいて2回目を接種します。		
日本脳炎（※注）	不活化							①	②	③							④		1期 3～4歳の間に6～28日の間隔をあけて初回接種（2回）を行い、初回接種終了後、約1年後に追加接種（1回）を行います。 2期 9～10歳未満の間に1回接種します。 （※注）日本小児科学会では罹患リスクの高いお子さんについては生後6か月からの接種を推奨しています。		
二種混合（ジフテリア・破傷風）	不活化																①	②	小学・義務教育学校6年生に相当する子		
HPV（子宮頸がん予防）	9価 不活化																	①	②	③	中学・義務教育学校1年生相当の女子 ▼いずれも1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。 【9価：シルガード9】 1回目の接種を15歳未満で受ける場合 5か月以上開けて2回接種（5か月未満の場合は3回接種） 1回目の接種を15歳になってから受ける場合 1回目から2か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目を接種

ワクチンの種類

ワクチンは、感染症の原因となるウイルスや細菌をもとに作られています。成分の違いから、大きく「生」と「不活化」に分けられます。

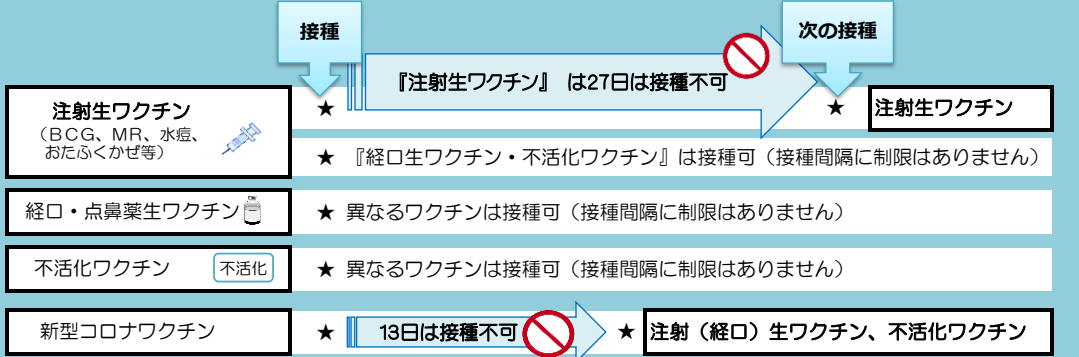
生ワクチン	毒性を弱めた生きた病原体でできたワクチンです。接種することで病原体に軽く感染したような状態になりますが、接種後の免疫は強くなります。生ワクチンには、注射生ワクチンと経口生ワクチンがあります。
不活化ワクチン	死んだ病原体や病原体の一部を集めたもの（病原体ではなく、免疫をつけるのに必要な成分のみ）でできています。体内で病原体が増えないため、免疫はつきにくく、複数回の接種が必要です。

任意予防接種

個人で接種するかを判断し、費用も自己負担となる予防接種です。健康保険は通常適用されません。

ワクチン	種類	接種スケジュール
おたふくかぜ	注射生ワクチン	対象年齢は1歳以上で接種することができます。1回接種をします。日本小児科学会では2回の接種を推奨しています。
三種混合・不活化ポリオ（追加）	不活化	日本小児科学会では、三種混合と不活化ポリオワクチンもMR2期と同時期に接種することを推奨しています。
（※）季節性インフルエンザ	不活化 生ワクチン	生後6か月以上で接種することができます。13歳未満は2～4週間間隔をあけ、2回接種します。 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン「フルミスト点鼻液」は、2歳から接種することができます。1回接種します。
新型コロナウイルス	mRNAワクチンなど	医療機関にご相談ください。

異なるワクチンの接種間隔について



同じ種類のワクチンの接種間隔について

同じ種類のワクチン接種を複数回受ける場合は、ワクチンごとに決められた間隔を守る必要があります。上記記載の「標準的な接種年齢（月齢）とスケジュール」を参考にしてください。

（※）季節性インフルエンザの助成については、担当課にお問い合わせください。